

二〇五三番

あまがは 天の川 八十瀬霧らへり 彦星の 時待つ舟は
いまこ 今し漕ぐらし

二〇五四番

かぜふ 風吹きて 川波立ちぬ 引き舟に 渡りも来ませ
よま 夜のふけぬ間に

二〇五五番

あまがは 天の川 遠き渡りは なけれども 君が舟出は
としま 年にこそ待て